

iPadの管理・運用に必要なものがすべて揃います!

GIGAスクール構想による1人1台端末の新しい学びを実現するには、授業や自宅学習で端末を円滑かつ安全に活用するための適切な"管理・運用"が求められます。JamfのGIGA向けサービスでは、デバイス管理をはじめアプリカタログや学習支援アプリ、安全対策、利活用状況の可視化機能といった今後の教育現場で求められる必要な機能が揃っています。

2024年1月29日・30日に文部科学省より発出された、GIGAスクール構想(GIGA第2期)にもとまる制定要件文書における、iPadに関連する端末管理機能(MDM)及びWebフィルタリングの標準仕様にJamf製品は準拠しています。

「JamfのGIGA向けサービス」の内容

基本パッケージ「Jamf Pro」



MDM

デバイス管理

Appleデバイスの一元管理が可能です。



Return To Service

再設定の自動化

初期化および再登録を完全に自動化できます。



Self Service

アプリカタログ

学校専用のアプリカタログを構築できます。



Jamf App

学習支援アプリ

先生や保護者が児童生徒の端末を管理できます。

応用パッケージ「Jamf Safe Internet」



Webフィルタリング

安全対策

危険なWebコンテンツから児童生徒を守ります。



利活用状況の可視化

わかりやすいレポート機能

稼働状況、利活用状況の可視化が可能です。

文教向けMDMのスタンダードとして、JamfはGIGAスクールを含む多数の学校で使われています。

「JamfのGIGA向けサービス」の詳細

MDM デバイス管理



Apple専用のMDMソリューションであるJamf Proは、世界7万5300以上の組織で3230万台以上のAppleデバイスの管理に利用されています。デバイス管理者は、児童生徒の生産性と創造性を保ちながら、端末をリモートで効率的に管理できます。

デバイス管理に必要なすべての機能が詰まっています



主な特徴

- MDMのデバイスチェックインで端末の利活用状況を把握
- Apple管理フレームワークに完全準拠
- 端末導入～運用までの作業全般を効率化/自動化
- OS同日サポートを10年連続で実施
- 柔軟なグループ設定を可能にするスマートグループ機能

Webフィルタリング 安全対策



Jamf Safe Internetのコンテンツフィルタリングにより危険なWebサイトへのアクセスを防ぎます。利用場所を問わないので持ち帰り学習にも対応しています。Jamfは、Appleのプライバシーポリシーに準拠しているため、Privacy Firstを実現しています。

Jamf Safe Internetのその他の特徴

- OSバージョンアップに迅速対応**
 Appleから毎年リリースされるOSのアップデートによって実装される機能や仕様の変更に対応します。
- ゼロタッチで簡単に展開**
 Jamf ProなどのMDMと連携することで、サイレントインストールにて展開可能です。端末側から手動でアクティベートする必要はありません。
- MDMとの優れた連携**
 Jamf Pro/Schoolのスマートグループ機能を利用してグループごとのフィルタリングを柔軟に適用/変更でき、運用工数を削減できます。

主な特徴

- Appleネイティブのフィルタリングエンジンを利用
- カテゴリとURL指定によるWebフィルタリング
- Googleサービス(Googleセーフサーチ、YouTube制限モード)に対応

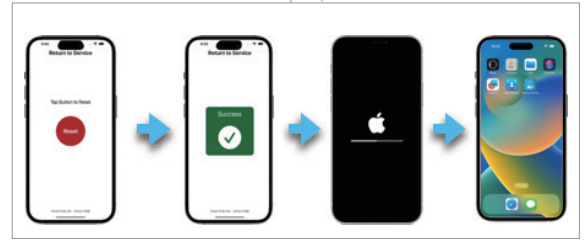
Return To Service 再設定の自動化



Apple は、iOS、iPadOS17 の新機能として、MDMのデバイス消去コマンドをReturn to Serviceと呼ばれる画期的な新機能で拡張しました。JamfのReturn to Serviceを使えば、初期化および再登録するプロセスを完全に自動化し、年度末端末更新作業を大幅に高速化することができます。

デバイスのデータはすべて消去され、自動的にデバイスのホーム画面に進みます

Wi-Fi パスワードの公開は不要です



主な機能

- 煩雑なWiFiネットワークの設定と、その他全ての選択を省略
- アプリケーションのインストールと構成プロファイルによる制御がゼロタッチで可能

Self Service アプリカタログ



JamfのSelf Serviceを使えば、学校専用のアプリカタログを作成でき、効率的に各種リソースを配信できます。デバイス管理者がアプリやPDFファイル等の各種リソースをカタログアプリへ掲載することで、ユーザは希望のアプリを選択形式でインストールできます。

2つのアプリ配布方法

デバイス管理者はアプリの配布方法を「強制配信」(管理者が自動インストール)と「カタログ配信」(許可されたアプリを児童生徒が自らインストール)を使い分けることができます。管理者の負荷軽減のみならず、ユーザの利便性の向上や端末の空き容量の確保、ネットワークの負荷軽減などにつながります。



児童生徒はワンタップで必要なアプリ等入手できます

Jamf Parents 持ち帰り支援



保護者はお手持ちのiPhoneやiPad、Androidなどのデバイス上にインストールしたJamf Parents Appを利用して、ご家庭の教育方針に合わせて児童生徒の端末管理を行えます。

主な機能

- 利用可能アプリの制限
- アプリやSNSの利用時間の設定
- デバイスの機能の制限

Jamf Teacher 授業支援



先生は授業中に児童生徒のiPadへ、柔軟に機能制御を加えることができます。Apple「クラスルーム」と組み合わせることで、より円滑に授業を進めることが可能です。

主な機能

- 先生用iPadから指定のアプリまたはWebサイトのロックが可能
- リモート環境でも利用可能

利活用状況の可視化 わかりやすいレポート機能



Jamf Safe Internetは一般的なコンテンツフィルタでは難しい、グラフィカルなレポートの可視化が可能です。管理者はデバイスごとの利活用状況をわかりやすく管理コンソールでリアルタイムに把握できます。

レポート機能について

- 接続先ドメインの情報により利活用状況を可視化
- デバイスの稼働状況の把握が可能
- 日時や可視化対象のグループは柔軟に指定可能
- プライバシー情報の保護にも配慮された設計

管理者はグループごとのデータ通信量を確認できます

